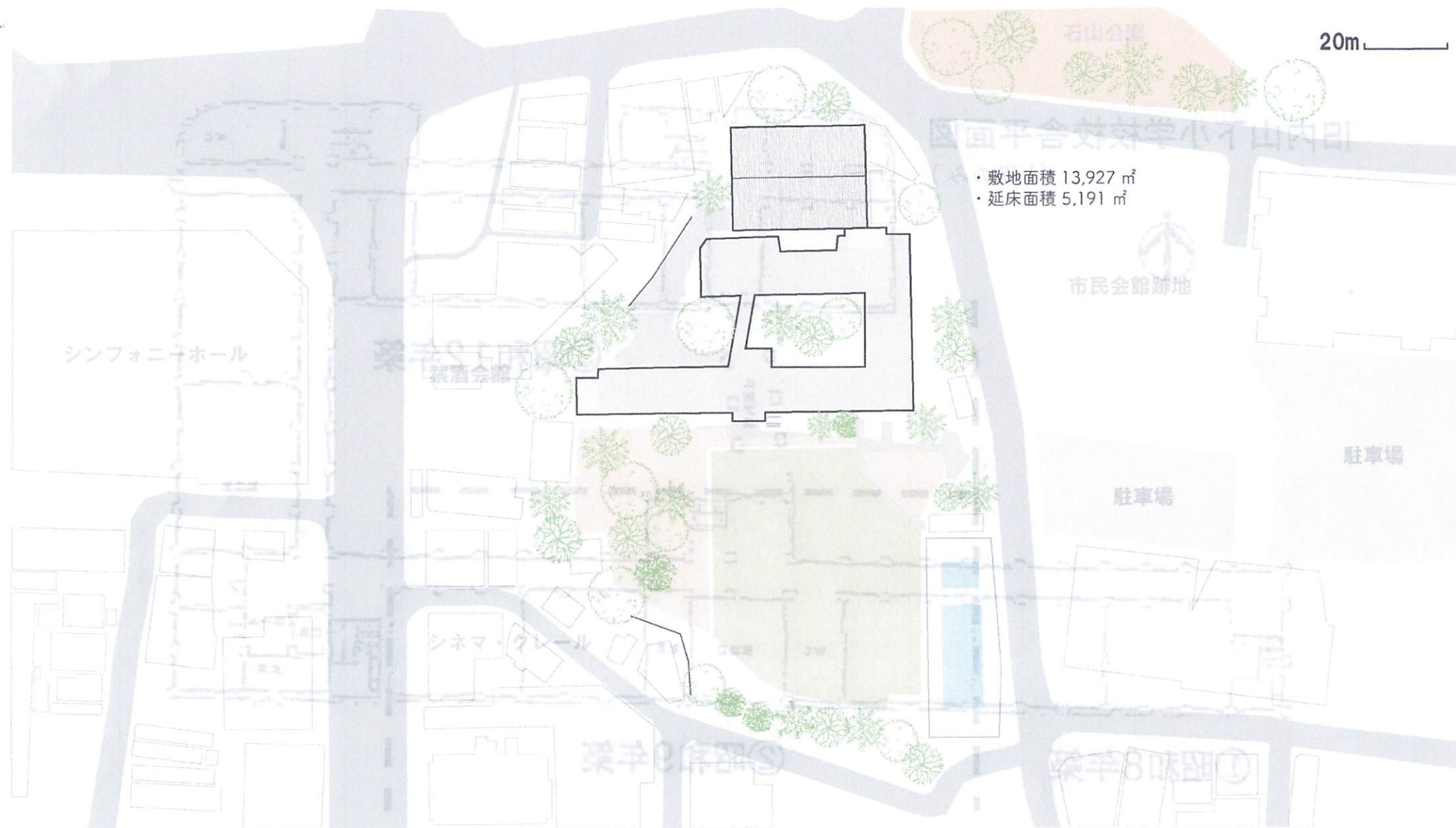




10.13 (月・祝) 旧内山下小学校見学会

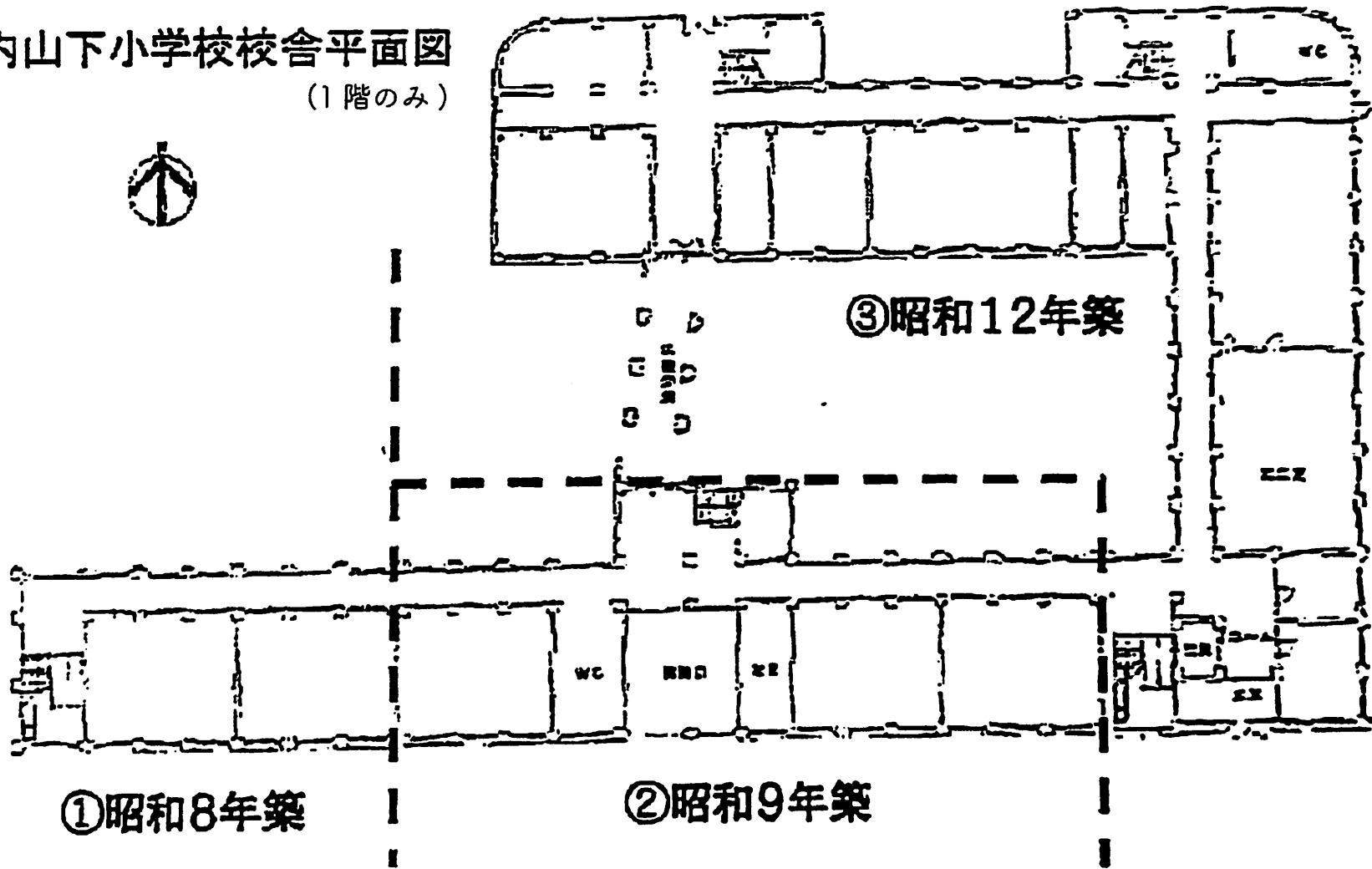
13:00 集合

～ 14:00 見学

～ 14:30 振り返り

旧内山下小学校校舎平面図

(1階のみ)



旧内山下小学校のこれまでとこれから

歴史

- ・岡山城の西の丸跡地に建築
- ・池田光政の隠居所となっていた場所を学校用地として活用
- ・西手櫓（国指定重要文化財）や、西の丸庭園跡が残されている

教育

- 1603年 西の丸西手櫓完成
- 1672年 池田光政隠居し、西の丸に移る
- 1890年 旧内山下小学校、現在地に移転
- 1922年 幼稚園開園

「庶民のための学校」を創建した池田光政の隠居所があった場所が学校に

- 1933年 現鉄筋校舎第1期工事完成
- 1934年 現鉄筋校舎第2期工事完成
- 1937年 現鉄筋校舎工事完成・落成式

岡山県内で最古の
コンクリート建築



- 1945年 10月～48年 6月 岡山市役所として教室を使用。
- 1945年 12月～46年 8月 岡山図書館を講堂控室に開設
- 1950年 西手櫓、国重要文化財に指定

戦禍を逃れ市政や文化の
拠点として仮設的に機能

- 1962年 歴史資料室竣工（創立百周年記念）
- 1961年 全国に先駆け難聴学級開設



教育と福祉の両輪

- 1980年 屋内体操場完成

スポーツ

福祉

- 2001年 3月 内山下小学校閉校
- 2001年 4月 岡山後楽館中高一貫校 内山下校舎として活用
- 2005年 岡山県教育委員会の調査で近現代建築として遺産登録される
- 2012年 3月 岡山後楽館中高一貫校としての活用を終了

旧内山下小学校の跡地活用がはじまる（2012年～）

芸術・文化

地域活動・防災拠点

年間約12000人が社会・
生涯教育の場として
利用してきた

バドミントン、
ジュニアオーケストラなど

2012年 旧内山下小を活用した
イベントがはじまる

2012年頃～ 内山下地区
連合町内会の防災拠点

活用に向けた動き

◎建物の保全に関する項目

- 2014年 1月 「旧内山下小学校跡地の活用を考える会」
- ◎2014年 内山下小建物の耐震調査を実施
- 2014年 3月 『都心創生まちづくり構想』策定

4年間の社会実験 行政と民間、市民の連携

延べ3万人を超える
来場者

- 2014年度 歴史まちづくり回遊社会実験 実施
- 2015年度 旧内山下小学校を活用した賑わい創出事業実施
- 2016年度 旧内山下小学校及び石山公園を活用した賑わい創出事業実施
- ◎2016年度 改修工事実施（間仕切り壁や火災報知器など）
- 2016年度 旧内山下小学校及び石山公園を活用した賑わい創出事業実施
- 2017年度 旧内山下小学校跡地を活用した社会実験実施

2018～2019 基礎調査実施

- 2020年 11月 「マチの母校はみんなの母校～旧内山下小学校の社会実験10年のまとめ～」
- 2021年 8月 旧内山下小学校跡地活用に対しての要望書 提出

2023年 3月 岡山城主要部跡地整備方針公表

2023年～おかやま文学フェスティバル開催

2024年 5月 岡山城西の丸周辺広場整備について公表

◎旧内山下小学校

突然の使用 不可通達

2025年 7月～「旧内山下小のこれからを考える会」@ラウンジ・カド
オンライン署名「旧内山下小学校を岡山市の街に残す」
（岡村由紀子さん）

市の方針とその課題

【市有地全体の整備方針】 旧内山下小学校跡地、岡山市民会館跡地、旧NHK岡山放送会館跡地
歴史・文化をいかした憩いと賑わいの拠点となる（防災機能を備えたスペース）
オープンスペース（公園）を整備 「岡山城主要部跡地整備方針」（2023.3）

- ・オープンスペースのあり方や、地域における学校跡地の役割を議論する必要
- ・岡山市内での廃校活用事例が乏しいため、成功のかたちが見えていない
- ・中心市街地の社会課題を解決するようなソーシャルインパクトに欠ける提案

市民活動として実践できること

署名活動

現在おかやま文学フェスティバル事務局の岡村さんが立ち上げ署名活動実施中。
<https://www.change.org/p/> 旧内山下小学校を岡山市の街に残す

旧内山下小を残すための活動に関する発信・声を集める

活動を発信し、関心を広げていくとともに、残したい声を集めていく。
「残した方がいいと思う人たちの思いや言葉が実はとても大事。」考える会参加者の発言

- ・ SNS 発信の役割
- ・ 署名活動との連動的な広報
- ・ 残したい声を集めるには？

残すための根拠となるデータを集める

耐震工事、地盤検査、石垣の強度など、残すために必要なデータを集める
図面の作成など

地域団体・個人の把握

残すことに関心がありそうな人たちを把握し、声かけをしていく

地域課題にみる旧内山下小学校の役割の整理

- ex. ・ 街中に子供の遊べるグラウンドがない
・ 近隣の公園が整備によって市民が使いづらい空間になりそう
・ まちなかにふれあいセンターがない
・ 中心市街地は見えにくいに限界集落化している

興味のある分野を深掘りして、提案に繋げていく

- ex.
- ・ 保水地 / グリーンインフラ
 - ・ 歴史的建物の保存活用
 - ・ 石垣の保存
 - ・ PFI 等の活用までのスキームづくり
 - ・ 教育活動（不登校特例校、コミュニティ・スクール etc）

10/29(水) 19:00～ @ ラウンジ・カド

登録有形文化財への申請

登録有形文化財は唯一市民が申請できる文化財。
県が近代化遺産として認めているのであれば、県や文化庁にアプローチしていくのもあり。
国の文化財審査会は年に2回。
「残す建物は誰かが残そうとしないと残らない。逆に熱意を絶やさなければなんとなかなるものもある。」考える会参加者の発言

※登録有形文化財
文化財建造物を守り、地域の資産として活かすための制度。厳密な保存のためにある従来の＜文化財指定制度＞に比べて、事業の展開や地域の活性化のために積極的に活用しながら文化財として緩やかに建造物を守っていくことができる。
登録制度の対象となるのは、建築後50年を経過した建造物。
岡山県内では108、岡山市内では15ある。

活用提案書の作成（～3月）

スケジュール案

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
署名活動								
			残すための根拠となるデータを集める					
			地域団体・個人の把握					
旧内山下小を残すための活動に関する発信・声を集める								
集会 @ ラウンジ・カド			インスタグラム立ち上げ(10月～)					
				提案に向けた各分野の深掘り・勉強会				
						提案書の作成		
資料室展示？								

資料室展示？

※登録有形文化財申請への
動きもつくれたら

参考資料

耐震診断等の実施有無

・旧内山下小学校校舎及び体育館の耐震診断結果(Is値)について(2014.2) 事業政策課調査結果:

どの建物(棟)も耐震判定指標値を下回っている

診断結果に基づき、外観への影響等を考慮しない単純な工法による耐震化を行う場合でも、最低でも1億円近い改修費が必要。

【校舎】

外観への影響等を考慮しない単純な工法による

改修工事費(最低限必要な耐震壁新設)約7500万円

改修設計費 約800万円

【体育館】

改修工事費(ブレース新設、方丈新設)約1600万円

改修設計費 約300万円

・岡山城主要部跡地活用検討のための基礎調査業務委託(2020.3) 事業政策課

旧内山下小学校校舎、体育館解体撤去費

約2億円から約3億2千万円(校舎:体育館=4:1)

【校舎】RC造 3階建 5,220.78㎡

【体育館】RC造 一部S造 2階建 773.27㎡

総務省資料や他都市事例をもとに算出

・西の丸跡石垣調査について(2023.8) 事業政策課

調査方法:目視調査

調査結果:平成10年時点の状況から大きく変化した箇所は認められなかった

周辺地域の概要

小学校区・地区名:内山下地区

世帯数:2,078世帯(R4.4)

人口:3,568人(R4.4)

連合町内会は25の町内会、13団体で防犯・防災・環境・福祉・健康づくりに活動している

周辺の歴史的建造物の活用事例

・禁酒会館

大正12年(1923)に竣工した木造三階建、寄棟造、スレート葺で、昭和20年の空襲を免れた数少ない建物。NPO法人が再生に関わり、2002年に国登録有形文化財に登録。

・おかやま旧日銀ホール

大正11年(1922)に竣工した日本銀行岡山支店本館。外装に花崗岩を用いた煉瓦造及び石造の重厚な建造物。2005年に文化芸術の拠点「ルネスホール」として再生。岡山県が指定管理者を募集して運営。

・林原美術館

岡山城二の丸跡に建つ。日本のモダニズム建築を牽引した前川國男設計の鉄筋コンクリート造。昭和38(1963)年の建築。長屋門は江戸時代末期、東蔵と中蔵は明治前期、西蔵は明治14(1881)年建築で、いずれも土蔵造本瓦葺。武家屋敷の姿を伝える遺構として貴重。

参考文献

岡山市立内山下小学校『統合記念 内山下小の歩み抄』(2001)

岡山県教育委員会『岡山県近代化遺産総合調査報告書』(2005)

一般社団法人ひばりエンタテインメント『マチの母校はみんなの母校～旧内山下小学校の社会実験10年のまとめ EVENT REPORT』(2020)

川島智生『近代日本の小学校建築史 鉄筋コンクリート造校舎の成立と展開』(2024)

岡山市議会 懐かしい未来『MORIYAMA EXPRESS - 旧内山下小学校方針ないまま利用不可へ』(2025)

<政策資料一覧>

岡山市政策局事業政策課「旧内山下小学校跡地の活用を考える会での意見概要について」(2014.2)

岡山市政策局政策企画課「旧内山下小学校を活用した賑わい創出事業実施業務について」(2016.1)

岡山市政策局事業政策課「『岡山県近代化遺産総合調査報告書』に記載されている学校施設の状況」(2025.6.12)

岡山市政策局政策部事業政策課「～岡山城西の丸周辺広場整備について～」(2024.5)

活用の参考例

いくのパーク（大阪市生野区）2023 年～

・多文化共生のまちづくり拠点の構築を目指す NPO 法人（NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと）と食を通じたまちづくりに取り組む事業者（株式会社 RETOWN）が「共同事業体」で施設を運営・管理。

・活用に至る背景

-2016 年 生野区西部地区で 12 小学校・5 中学校を 4 小学校・4 中学校に再編する計画を策定。大阪市が西部地区のすべての学校跡地を残すことを前提とした計画をたてる。

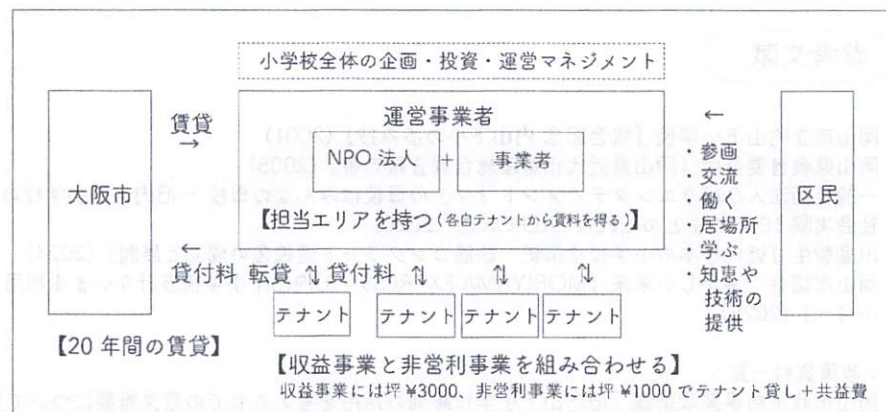
-2019 年 6 月「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」策定

◎防災拠点と地域活動の場であることを基盤とした構想

◎市役所内のまちづくり推進担当が進めた

（学校再編チーム（教育）と跡地活用チームがプロジェクトを推進）

・施設全体活用スキーム



・その他特徴

- 地域活動、イベントが無償で優先的に利用できるようにしている（主に閉校する前に活動していた団体の行事等）

- 平常時と災害時に活用するそれぞれの用途をプロポーザルで指示

- 8 割テナントを決めた状態でスタート

- 運営事務局は月・金のみ運営

- 初期投資は 2 億（事業者 6 割：NPO 法人 4 割 負担）

- 現在は黒字経営

- テナントの集會會議が月 1 回、事業者と NPO 法人の會議が月 1 回開催されている

参考文献：生野区役所「御幸森小学校 跡地活用計画」（2021）

生野区役所「御幸森小学校跡地活用事業に関する活用事業者募集プロポーザル実施要領」（2021）

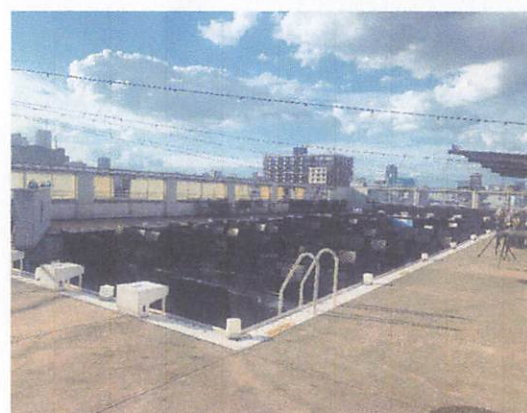
ヒアリング：松本篤さん（株式会社 RETOWN 代表取締役）2025 年 9 月 30 日



校庭、校舎、体育館



1 階から 3 階までテナントが入居



屋上のプールを活用した BBQ



多文化共生に関する NPO 法人の事務所



まちづくり事業者の事務所。視察の受け入れをしている



1 階には飲食店や図書館など人が集える空間が配置されている